



みんなが見守る中で快走

1月25日に一色小学校校庭をスタートする葉山町町民駅伝が開催されました。沿道でたくさんの方が選手に声援を送る中、一般と中学生の部では、日ごろの練習の成果を発揮した高校生が他を寄せ付けずに圧勝。陸上の将来が楽しみですね。



おそばがいい香り！

2月10日、保健センターで公民館教室「そば打ち体験講座」がありました。先生は、そば屋のご主人二人。参加者は、粉と水の混ぜ具合、めん伸ばし方や切り方等、見よう見真似でそば打ちをしました。最後にゆで上げた出来たてのそばを皆ですすり、「今までに食べたことがないくらいおいしい!!」という感想も。



「かながわ駅伝」で優勝!!

2月8日、第63回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会。葉山町は2時間52分18秒で走り、町村の部2年連続優勝を飾りました。県内30市町村中でも13位という好成績です。秦野市の秦野中央運動公園から県立相模湖公園までの全長51.5kmの起伏のあるコースを中学生や女性を含む1チーム7人がたすきを繋ぎました。

葉山歌壇俳壇

短歌

岡田 保子 選

◎来世には雨は降るまじ亡き友の巻かれしままの長き柄の傘  
 (評)お悔やみに伺ったときでしようか。ふと目に止めた故人が生前愛用されていた一本の傘。具体的な一点から発想された友への慈味あふれる思いの深い歌です。

我が町の上山口の千枚田「にほんの里の100選」に有り  
 パール富士今年こそはと期待して一月十日月落つるを待つ  
 平穏な日常のなか育つ子ありいくさだけしか知らぬ子らいる  
 捨て置きし枯れたる竹を振り上げて子等の遊びの奥深きを知る  
 みどりごの温みと鼓動抱きいて何やら清し 寒に入りたり  
 春の浜母の手放れし幼子の一人遊びをどこまでも追う  
 ケ・セラ・セラ肩の力をぬきたまえ春の色なる海よりの声  
 散歩道に雉の仔二、三羽顔を出す よいことありそう元日の朝  
 五分後が辛味の頂点わが裡の頂点思いつつ大根おろす

俳句 沼田葉櫻子 選

俳句 浅井 一志 選

◎湧き出でし大地の星や大ふぐり 川崎 虎康  
 (評)早春になるといち早く瑠璃色の輝かしい花をつけて大地に広がる。実の形が似ているところから、この名がある。「大地の星」という表現が新鮮で、着眼・着想のよい作品である。

\*不揃ひの石段を踏み初詣 三崎 邦彦  
 (評)近ごろは、新年の季語が廃れてきた。その中で「初詣」は比較的によく詠まれている。上五音から推測すると、古い神社・仏閣と思われる。固有名詞を省いてよい句になった。

老若の絆深まるどんど焼き 熊本 京子  
 冬波の置き忘れたる玻璃の色 石川 光子  
 凍て蝶の運びし岩に日のかげら 堀江規弥子  
 咳一つ部屋の空気を動かしぬ 近藤 礼  
 鉄のごとかたき枝なり梅いける 伊藤 桃

お詫びと訂正  
 二月号浅井先生選「日溜りに光集めし水仙花」は多羅空竹さんの作品でした。訂正してお詫び申し上げます。

締切は、掲載希望月の前々月末日必着。はがき1枚に、一人3首か3句まで(当季雑詠)、住所、氏名、電話番号を書いて、企画調整課「葉山歌壇俳壇係」まで